

事業所名:まごころ千曲

実施日:令和元年 11 月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		学校休業日には2階の指導訓練室も積極的に活用する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用者数が多い時には、スタッフ数とのバランスを欠く場合がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープなど、場面によって必要な設備を用意している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。月間の会報で公開することも検討中。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後外部評価を入れていく予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			経験年数により、それぞれに適した研修を出勤日に受講する体制を整えている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			研修等で修得したものを活用しているが、種類としてはまだ少ない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		行動障害を持つ児童を中心に手順書を作成し細やかに支援しているが人数は多くない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に全スタッフが集まり、その日必要な内容を打ち合わせている。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返りを行い、修正点・改善点を確認している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			適した記録が行えるよう記録用紙を修正した。今後も継続してより書きやすく、正しい記録が取れるような書式にしていきたい。

⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		地域交流についての取り組みが課題。地域にある児童センター等と連携していきたい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者及び各児童の担当者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			個別の支援会議及び学校とサービス提供事業所との会議にて、情報共有や連絡調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医及び地域にある訪問看護ステーションと連携を取っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新規利用児は就学前に保育所等を見学し、児童の様子や支援方法を確認している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		支援会議等で間接的に助言を得ている。また、職員に研修の受講を促している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は機会がないため、今後一緒に活動する機会を設定するなどの改善が必要。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			全体会・運営委員会・事業所連絡会及び各専門部会に参加している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		子育てに悩んでいる保護者を中心にペアレント・トレーニングの研修や勉強会の受講を勧めている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前のオリエンテーションや定期的な面談時に必要なことを伝達している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			R1年度については新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止にした。感染が終息した時点で実施予定。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行。また必要に応じて随時書面にて通達している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の文化祭開催等で地域に開かれた事業運営を行うことが今後の課題である。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		左記の3つのマニュアルについては現在保護者に周知しているところ。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			2回/年の避難訓練を実施。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			少なくとも1回/年、スタッフミーティングにて研修機会を確保している。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			必要な児童には個別支援計画書に記載することで保護者の承諾を得ている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、食物アレルギーのある児童はいない。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成した上で全スタッフが集まるミーティングにて共有している。